



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社THEグローバル社 上場取引所 東
コード番号 3271 URL <https://www.the-g.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 圭司
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 岡田 一男 TEL 03-3345-6111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第1四半期	7,624	△19.3	440	△52.3	108	△87.2	225	△67.1
2025年6月期第1四半期	9,442	5.6	923	33.2	847	52.3	684	85.9

（注）包括利益 2026年6月期第1四半期 225百万円（△67.2％） 2025年6月期第1四半期 685百万円（84.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	7.95	—
2025年6月期第1四半期	24.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期第1四半期	38,336	9,946	25.9	351.38
2025年6月期	40,471	10,853	26.8	383.43

（参考）自己資本 2026年6月期第1四半期 9,946百万円 2025年6月期 10,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		0.00	—	33.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	51,426	△16.7	4,538	△16.2	3,505	△24.3	3,042	△17.4	107.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期1Q	28,306,000株	2025年6月期	28,306,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	76株	2025年6月期	76株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期1Q	28,305,924株	2025年6月期1Q	28,305,924株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

分譲マンション事業におきましては、「ウィルローズ篠崎」において2戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高116百万円（前年同期比98.5%減）、営業損失68百万円（前年同期は営業利益1,177百万円）となりました。

収益物件事業におきましては、「品川大井プロジェクト」「菊川Ⅲプロジェクト」、「四ツ木一丁目プロジェクト」等、7物件の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高7,247百万円（前年同期比378.5%増）、営業利益814百万円（前年同期比985.4%増）となりました。

販売代理事業におきましては、グループ会社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡し実績は、東京都区部8物件18戸、東京都下2物件2戸、埼玉県1物件1戸、千葉県2物件2戸、合計13物件23戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高37百万円（前年同期比90.4%減）営業損失78百万円（前年同期は営業利益194百万円）となりました。

建物管理事業におきましては、2025年9月30日現在のマンション管理戸数は4,145戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高132百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益1百万円（前年同期比57.7%減）となりました。

その他といたしましては、ホテル事業等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高92百万円（前年同期比18.7%減）、営業損失30百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、「ホテル事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高7,624百万円（前年同期比19.3%減）、営業利益440百万円（前年同期比52.3%減）、経常利益108百万円（前年同期比87.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益225百万円（前年同期比67.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,134百万円減少し38,336百万円となりました。負債については前連結会計年度末から1,227百万円減少し28,390百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から907百万円減少し9,946百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,803百万円減少、仕掛販売用不動産が798百万円減少したことによるものであります。

負債の主な要因については、買掛金が903百万円減少、短期借入金が2,474百万円減少及び長期借入金が1,839百万円増加したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益225百万円の計上、配当金の支払1,132百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月8日に公表しました通期予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,761	9,958
売掛金	102	65
販売用不動産	1,020	924
仕掛販売用不動産	26,171	25,372
前払費用	250	339
その他	320	680
流動資産合計	39,627	37,341
固定資産		
有形固定資産	313	331
無形固定資産	12	13
投資その他の資産		
投資有価証券	13	13
長期貸付金	338	317
繰延税金資産	—	194
その他	544	480
貸倒引当金	△377	△356
投資その他の資産合計	518	649
固定資産合計	843	995
資産合計	40,471	38,336
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,555	652
短期借入金	5,019	2,545
1年内返済予定の長期借入金	10,408	11,123
1年内償還予定の社債	1,532	1,532
未払金	521	453
未払法人税等	403	77
未払消費税等	308	128
前受金	284	725
賞与引当金	13	55
賃借契約損失引当金	4	2
その他	348	134
流動負債合計	20,400	17,429
固定負債		
社債	36	20
長期借入金	8,970	10,810
繰延税金負債	89	—
その他	121	130
固定負債合計	9,217	10,960
負債合計	29,617	28,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,924	1,924
資本剰余金	2,870	2,870
利益剰余金	6,224	5,317
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,019	10,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△168
為替換算調整勘定	△168	2
その他の包括利益累計額合計	△166	△166
非支配株主持分	0	0
純資産合計	10,853	9,946
負債純資産合計	40,471	38,336

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	9,442	7,624
売上原価	7,386	6,358
売上総利益	2,055	1,265
販売費及び一般管理費	1,132	825
営業利益	923	440
営業外収益		
受取利息	0	7
受取手数料	155	0
解約精算金	—	0
受取地代家賃	2	2
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	4	1
営業外収益合計	162	12
営業外費用		
支払利息	163	145
支払手数料	68	197
為替差損	0	—
その他	6	0
営業外費用合計	238	343
経常利益	847	108
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	—	5
ゴルフ会員権評価損	—	15
特別損失合計	—	20
税金等調整前四半期純利益	847	88
法人税、住民税及び事業税	109	148
法人税等調整額	53	△284
法人税等合計	162	△136
四半期純利益	684	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	684	225

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	684	225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	685	225
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	685	225

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	11百万円	17百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高					
一時点で移転される財及びサービス	7,582	1,511	100	—	9,193
一定の期間にわたり移転される財 及びサービス	—	2	—	131	133
顧客との契約から生じる収益	7,582	1,513	100	131	9,327
その他の収益 (注) 4	—	1	—	—	1
外部顧客への売上高	7,582	1,514	100	131	9,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	293	—	293
計	7,582	1,514	393	131	9,621
セグメント利益又は損失 (△)	1,177	75	194	3	1,450

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	110	9,304	—	9,304
一定の期間にわたり移転される財 及びサービス	—	133	—	133
顧客との契約から生じる収益	110	9,437	—	9,437
その他の収益 (注) 4	3	5	—	5
外部顧客への売上高	114	9,442	—	9,442
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	293	△293	—
計	114	9,735	△293	9,442
セグメント利益又は損失 (△)	△40	1,409	△486	923

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△486百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△193百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準 (企業会計基準第13号 2007年3月30日)」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針 (企業会計基準委員会 移管指針第10号)」に基づく不動産 (不動産信託受益権を含む) の売却収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				
	分譲マンション 事業	収益物件事業	販売代理事業	建物管理事業	計
売上高					
一時点で移転される財及びサービス	116	5,809	34	—	5,960
一定の期間にわたり移転される財 及びサービス	—	6	—	132	139
顧客との契約から生じる収益	116	5,816	34	132	6,100
その他の収益 (注) 4	—	1,431	—	—	1,431
外部顧客への売上高	116	7,247	34	132	7,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3	—	3
計	116	7,247	37	132	7,534
セグメント利益又は損失 (△)	△68	814	△78	1	668

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	88	6,049	—	6,049
一定の期間にわたり移転される財 及びサービス	—	139	—	139
顧客との契約から生じる収益	88	6,189	—	6,189
その他の収益 (注) 4	3	1,435	—	1,435
外部顧客への売上高	92	7,624	—	7,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	△3	—
計	92	7,627	△3	7,624
セグメント利益又は損失 (△)	△30	637	△197	440

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△197百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△194百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準 (企業会計基準第13号 2007年3月30日)」に基づく賃貸収入及び「特別目的会社を利用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針 (企業会計基準委員会 移管指針第10号)」に基づく不動産 (不動産信託受益権を含む) の売却収入等が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「ホテル事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法及び名称により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。